

◆8月に全町内会を対象に「防災まちづくり計画に関するアンケート調査」を実施しました

平成30年度から防災まちづくり計画策定の取組を開始、3年目の今年、防災まちづくり計画策定を予定しています。今回「教業防災まちづくりニュース3号（各町内会編）」で「**教業学区防災まちづくり計画の基本方針案**」および「**各町内会毎の防災まちづくりの重点的な取組案**」を紹介し、各町内会ごとに、町内会加入世帯を対象に「防災まちづくり計画に関するアンケート調査」を実施しました。

8月に自主防災部長にご協力いただき、対象20町内会、482世帯に配布し、202世帯から回答をいただきました（回収率42%）。アンケート調査をもとに、学区全体及び町内会の防災まちづくりの課題の整理を行いましたので、報告します。

◆学区及び町内会の防災課題に対する回答者の認識の整理

●結果分析においては教業学区に関する基本的なデータを十分に考慮して整理を行いました。

学区全体から見るとアンケート回答者数は2割弱でしたが、高齢者の多くの方の防災への関心の高さが確認できました。下記の基本データを十分に考慮しつつ、防災課題の整理を行いました。

学区の人口・世帯数	人口：2,010人 世帯数：1,194世帯（令和2年4月1日住民基本台帳）
町内会加入世帯	加入世帯：485世帯 加入率：41%（/令和2年4月1日住民基本台帳世帯数）
住宅の建て方別戸数	戸建て：473戸（38%）、共同住宅：764戸（61%）（H27国調）
アンケート回答者の概要	・回答数：202世帯（回答率42%）、住民基本台帳全世帯に対する回答率：17% ・回答者年齢—50歳代以下：32%、60歳代以上：66%、70歳代以上：46%

◆アンケート調査から整理できる回答者の防災課題に対する認識（取組課題の確認）

（確認1）高齢者の方の回答比率が高く、高齢者の防災に対する関心の高さが顕著に顕れています

—高齢者の防災に対する意識が高く、**高齢者が安心して暮らせるまちづくりが重要なテーマ**です

（確認2）回答者の1/4（49世帯）の方が行き止まり路地に面しておられ、二方向避難ができません

—学区全体及び各町内会で、**「袋路の安全な避難確保の検討の取組」が重要**です

（確認3）回答者の半数（100世帯）の方が自宅の耐震性能に不安を感じています

—木造建築物の多い町として、**学区全体で「建物の耐震性能、防火性向上の取組」が重要**です

（確認4）「町内会の緊急連絡網を知らない」55%、「緊急連絡網訓練」を8割の方が体験していません

—**町内会での災害時の緊急連絡網の再確認とそのための定期的な訓練実施が急務の課題**です

（確認5）「町内会での災害時の対応の取組」を8割近くの方が認識していません

—大災害が頻発する中、**「町内会で災害に備えての話し合いとその体制づくり」が急務の課題**です

（確認6）高齢者の多くの方が町内会の高齢者への見守り活動に不安を感じています

—高齢者の災害への不安度は高く、**「町内会での高齢者の見守り活動の充実」は急務の課題**です

（確認7）避難所の元教業小の安全性への不安、避難路の安全性への不安の意見が多く見られます

—学区全体の取組として、**「住民の避難所や避難路の安全性への不安」に対して、的確な説明の取組が急務の課題**です

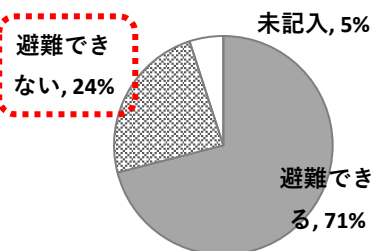
（確認8）町内会未加入のマンションのことや宿泊施設の増加に対して、災害時の不安の声が多い

—**マンション居住者と町内会住民の災害時の共生について**は町内会独自の取組は困難な面も多く、**学区全体での取組指針の提示の取組**が求められます。

◆「アンケート調査」結果の中で、課題が確認される活動等の概要を報告します

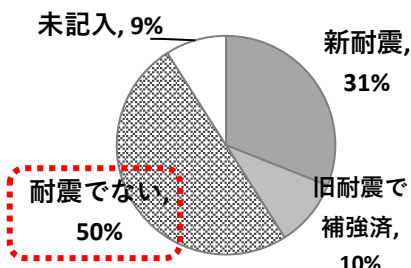
■自宅からの二方向避難可能

・回答者の24%の方が二方向避難できないとの回答で、**安全な避難路確保が課題**です。



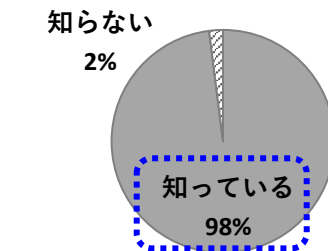
■自宅の耐震性能について

・回答者の半数の方が「耐震補強していないので不安の回答、**学区全体での耐震化を促進**。



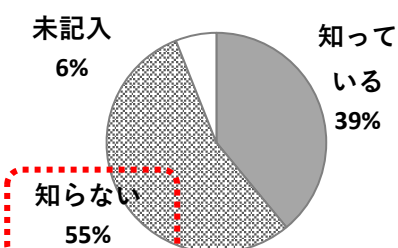
■町内の集合場所の認知度

・回答者の98%の方が「町内の集合場所や避難所」を知っており、**周知は徹底している**。



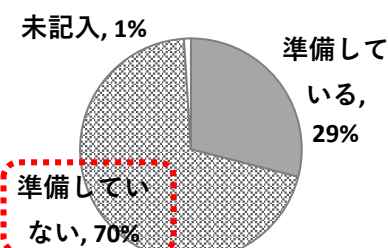
■町内の緊急連絡網の認知度

・「緊急連絡網を知らない」の回答が半数を越え、**災害時の連絡手段の徹底は緊急課題**。



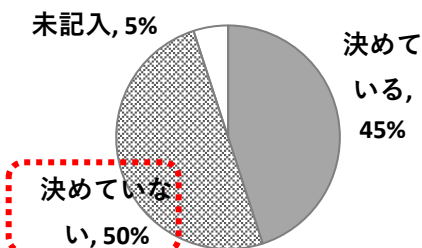
■非常用持出袋の準備状況

・「準備していない」の回答が70%に及ぶ。**各家庭の災害への備えの遅れが顕著**です。



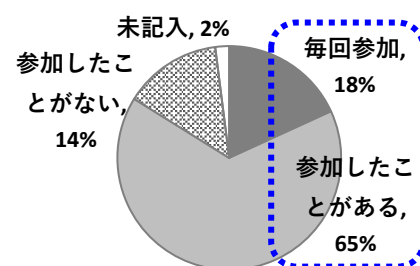
■緊急時の家族の連絡方法

・半数の方が災害時の家族の連絡方法を決めていない。**災害時はまずは家族の安否確認を！**



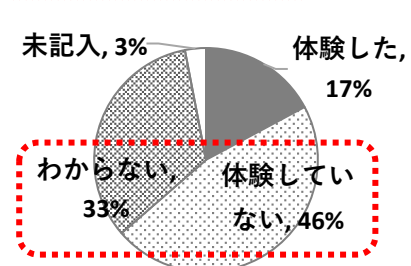
■学区の防災訓練への参加

・「毎回参加、参加したことがある」方が8割を越えるが、**訓練内容については要確認を！**



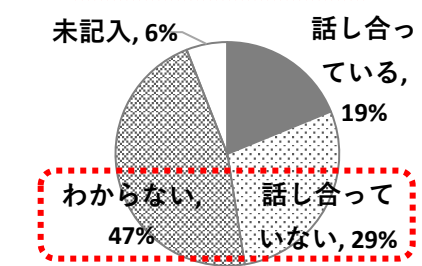
■町内会の緊急連絡網の訓練

・8割の方が緊急連絡網訓練の経験がない。**町内会の緊急連絡網の徹底が緊急課題！**



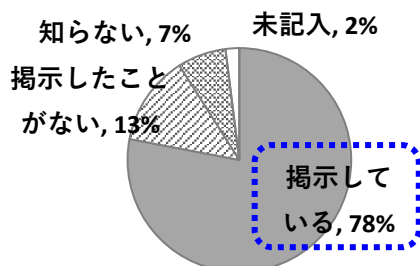
■町内会で災害時の話し合い

・町内会の災害時対応については76%の方が認識していない。**町内会の取組が急務！**



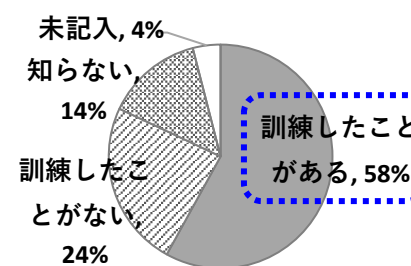
■安否確認の黄色のハンカチ

・防災訓練時の「黄色のハンカチの掲示」は78%に及び、**この取組はかなり浸透している**。



■町内会での初期活動訓練

・集合場所での初期活動訓練は58%の方が経験との回答だが、その**訓練内容は要確認を！**



■町内会の高齢者の見守り活動

・高齢者の回答多い中、**8割弱の方が町内会での高齢者の見守り活動を把握していない**。

